



## 学術的文章の書き方入門

近田, 政博

---

**(Citation)**

附属図書館協同学修シリーズ:1-26

**(Issue Date)**

2015-11-24

**(Resource Type)**

learning object

**(Version)**

Version of Record

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90002994>



附属図書館セミナー 2015年11月24日

# 学術的文章の書き方入門

神戸大学 大学教育推進機構

近田 政博

[chikada@tiger.kobe-u.ac.jp](mailto:chikada@tiger.kobe-u.ac.jp)



# 0. はじめに

**論理的な文章を書くことがなぜ必要なのか？**

# 何が違うんだらう？

	日記	小説	取扱説明書
対象	自分	不特定多数 その小説を読みたい人	不特定多数 その装置を使いたい人
制約条件	なし	なし	あり(機能説明)
目的	自己満足？	読者の満足？	製品の操作方法の説明(必要なことは？)
解釈	意識せず	多様な解釈が可能	一通りの解釈のみ可

- 「人を動かし、組織を動かし、社会を動かそうと思うなら、いい文章が書けなければならない。いい文章とは、名文ということではない。うまい文章でなくてもよいが、達意の文章でなければならない。文章を書くということは、何かを伝えたいということである。**自分が伝えたいことが、その文章を読む人に伝わらなければ何もならない。**」

– 立花隆ほか『二十歳のころ』新曜社、1998, p.15

- 「子曰、辭達而已矣」(辞は達するのみ)

– 論語

# 文章を構造化する上で必要な要素

(渡辺哲司, 2013)

- 提起する〈問い〉
- 問いに対する〈答え〉
- 答の〈根拠〉
  - “論ずる”とは「〈問い〉を起こし、それに対して〈根拠〉をともなった〈答え〉を示すこと」(渡辺, 40頁)

# 論文の基本型

- 研究目的、意義、仮説提示
- 先行研究の整理
- 研究方法論、方法
- 実験、調査などの結果
- 結果の考察、仮説検証
- 結論、残された課題
- 参考文献

# 学生はなぜ書けないのか？

- 学校作文から抜け出せない
- 大学教員が「論じよ」という意味がわからない
- 書くこと(あるいは表現すること全般)に対して、過剰なほどの苦手意識がある  
(渡辺哲司, 2013)



# 学校作文の伝統

- 思いつくことをありのままに綴る
- 子どもの**個性や感性**を尊重
  - 学校作文の例：今日は遠足で動物園に行きました。象さんが鼻を上手に使ってリンゴを食べていました。象さんの鼻は本当に長いなあと驚きました。すごいなあと思いました。
  - 大学だと：象の鼻はなぜ長く発達したのだろうか。私は次のように推測する。この仮説を確かめるために次のような方法を用いる。その結果、仮説通りにはならなかったので、たぶん別の理由があるのだろう。

# 大学で求められる文章とは？

- 読みやすい文章
    - 複雑な文章は必要ない、簡潔に書く
  - 誤解を与えない文章
    - 多様な解釈を読者に与えない
  - 科学的・論理的な文章
    - 根拠に基づく、順序性・階層性がある
- (佐渡島・吉野, 2008, pp.10-12)
- なぜそうした特徴が必要なのか？

# 受験小論文とレポートの違いは？

- 大学受験の小論文では「私は〇〇のように考える」と説明する
- 大学のレポートでは、「〇〇の理論に基づくならば△△のように説明できる」あるいは、「〇〇のデータによると、△△のような結果が得られた」のように、**一定の根拠に基づく実証**が求められる

# レポートと論文の違いは？

- レポートは、「〇〇について論じよ」という形で、すでに「問い」が与えられている
  - 与えられた「問い」をどう論証するか
- 論文は、自分で「問い」を探し、立てることから出発する
  - 「問い」の立て方と論証の内容の両方が評価対象となる
- つまり、論文とレポートの違いは、水準の違いではなく、スタート地点の違い。

# 1. アカデミックな文章の基本

# 「一文一義」で書く

- 一つの**文**の中にメッセージは一つだけ
- 一つの**段落**で主要メッセージは一つだけ
- 段落の中で、重要なメッセージを最初に言う

# 簡潔な日本語を心がける

- 一文をできるだけ**短く**する
- 論理的に意味のない**読点**（、）や**連用形接続**（の、が）を極力少なくする
- **主語・述語**の対応関係を明確にする
- **指示語、代名詞**をできるだけ少なくする（あれ、それ、これら、その）
- **接続詞**を連発しない（逆接を多用しない）

## 2. 問いを立ててみよう（演習）



# 問いを小さな課題意識に分解すると、 論点がいろいろ見えてくる

- なぜ、そうなるのか？（理由）
- どうやって？（方法）
- 本当にそうか？（事実確認）
- どういう意味か？（意味づけ）
- 必ずそう言えるか？（蓋然性）
- どう対応すべきか？（対応策）
- 何がいけないのか？（問題点）

# たとえば「裁判員制度の導入」なら、

- 裁判員制度とは何か？
- なぜ裁判員制度が必要なのか？
- 現行の裁判制度の何が問題なのか？
- 裁判員制度導入に関する世論はどうなっているのか？
- 諸外国では裁判員制度はどうなっているのか？
- 裁判員制度の起源はどこにあるのか？
- 裁判員制度にどのような効果を期待できるのか？
- 裁判員制度の導入に伴う副作用、弊害は何か？
- 裁判員制度の導入にはどのくらいのコストがかかるか？

# たとえば、「大学生の学力低下」なら、

- 学力低下とは何か？ 何をもって学力低下と考えるか？
- 学力低下はいけないことか？
- 本当に学力低下がおきているのか？
- なぜ学力低下がおきるのか？
- 学力低下はどのようにおきているのか？
- 誰が学力低下を指摘しているのか？
- 学力低下は今に始まったことなのか？
- 学力低下にどのように対応すべきか？

# 分解した問い→仮説→論証方法

- 仮説とは、自分が立てた小さな問いに対する「たぶん〇〇ではないかな」という推測
- 通説を疑い、おもしろい逆説を立ててみる
- 仮説を立てたら、それを論証する方法を考える
- たとえば、
  - 小さな問い: タバコ増税は逆進性が大きく、課税の公平性という点で問題があるのでは？
  - 仮説: タバコ増税は所得格差を拡大させる。
  - 論証方法: 所得別の喫煙率データを探す
  - (所得の低い層ほど喫煙率は高いかもしれない)

# 演習問題1

- 3人一組のグループごとに、次の課題の中から1つを選択してください(あるいは指定?)
- 選択した課題を5個の小さな問いに分解してください。

- ①神戸大キャンパスの全面禁煙
- ②国立大文系学部・教員養成学部の改編
- ③成人年齢の18歳引き下げ

# 演習問題2

- 5個の小さな問いのどれか一つを選び、自分なりの仮説を立ててみてください。
- 仮説を立てたら、それを論証する方法を考えてください。
- →通説よりも、逆説の方がおもしろいです。

# 演習問題3

- あなたの考えた「**小さな問い**」→**仮説**→**論証方法**をグループ内で発表してください。

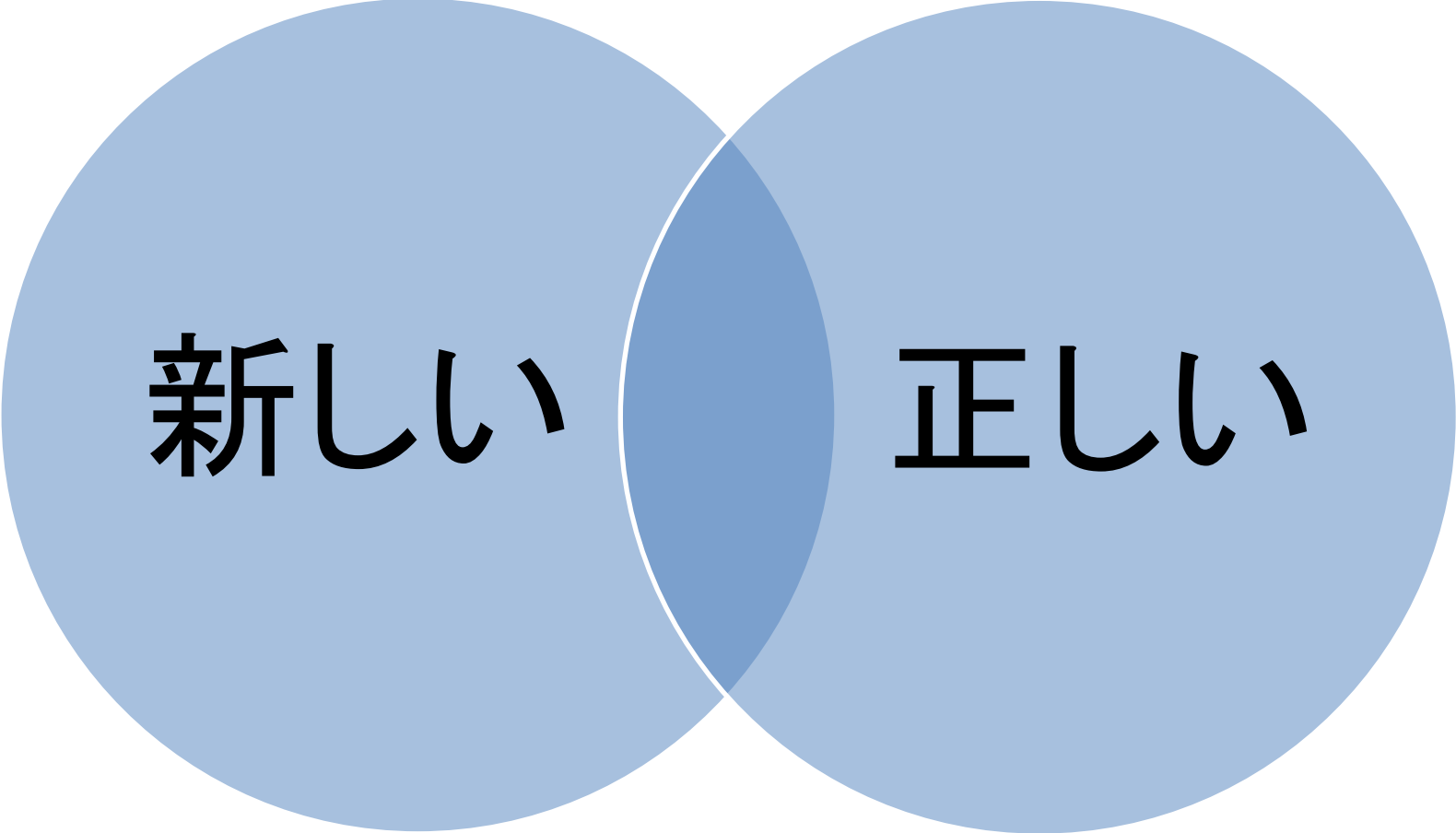
# 例

- 【小さな問い】
- 学内全面禁煙によるリスクは何か？
- 【自分なりの仮説】
- 喫煙する教授陣の集中力が落ちて、教育・研究成果が大幅に低下する
- 【論証方法】
- 喫煙教授陣の論文数、科研費採択数を学内全面禁煙の前後で比較する



# 「科学とは、新しくて正しいことを言う営み」

(戸田山和久, 2011年, 104-105頁)



新しい

正しい

**→だから論文を書くのは難しい！**

まずは、与えられた「問い」を自分なりに展開するところから始めましょう。

つまり、

- ① **問い**を展開・分解し、
  - ② 最も関心を抱いた問いについて**仮説**を立て、
  - ③ **論証**する方法を考え、
  - ④ 論証を実行し、
  - ⑤ 得られた**結果**をもとに**結論**をまとめる、
- というのがアカデミックな文章の基本形です。

# 書く力をつけるための基本文献

- 木下是雄『レポートの組み立て方』中公新書、1994年、780円
- 戸田山和久『論文の教室』NHKブックス、ブックス、2002年、1120円
- 佐渡島紗織・吉野亜矢子『これから研究を書く人のためのガイドブック』ひつじ書房、2008年、2000年
- 戸田山和久『「科学的思考」のレッスン 学校で教えてくれないサイエンス』NHK出版新書、2011年、860円＋税
- 渡辺哲司『大学への文章学 コミュニケーション手段としてのレポート・小論文』学術出版会、2013年、1600円